

「緑の募金」に寄せて

日頃から「緑の募金」並びに「森と緑とのふれあい支援事業」等にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今年も春暖の頃となりますと、平成29年春季の「緑の募金運動期間」が始まります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、兵庫県緑化推進協会が法人として発足し、早20年余りが経ちました。平成7年に緑の募金法が制定されたことを受けて、平成8年に前身の兵庫県緑化推進委員会を解散して、どたばたの中で社団法人として当協会を立ち上げたことを思い出します。

当時は平成6年に旧村岡町で開催された第45回全国植樹祭を契機として「県民総参加の森づくり」を進める中で、里山林への関心が高まり、全県的に森林ボランティア活動が活発になっていく時期でした。また、林業衰退による人工林の荒廃や里山放置林の増加も深刻化していました。

これらの課題に対応するため、当協会として募金体制を強化して、「緑の募金」を活用した支援事業を立ち上げ、県の森林整備等の推進の一端を担うことになりました。

兵庫県の里山林整備は、当初県が実施する里山公園型のモデル的整備とボランティア団体による整備が行われてきましたが、現在は、年間約400ヘクタールの里山林の整備面積の内、約8割が森林ボランティア団体や地域住民による整備となっています。しかし、整備を担っている森林ボランティア等の高齢化が進み、60代後半から70代が中心となっており、さらに実働人員も減少しているのが現状です。また資金不足等のため満足に活動ができない団体もあると聞いています。

ボランティアの皆さんが森林整備活動を行うには鉈やのこぎりの手道具からチェーンソー、下草刈機などの資機材の他、燃料代や各種消耗品などかなりの経費が毎年必要となりますし、イベントや森林体験学習が開催されるなど、経費負担も多くなっています。

当協会では、「森と緑とのふれあい支援事業」による森林ボランティア活動の支援、巨樹の保存活動支援、緑の少年団の育成等を実施するとともに、ひょうご森のまつりの共催等を行っていますが、近年、「緑の募金」は平成22年をピークに半減しており、支援事業の枠や助成額を縮小せざるを得ない状況です。

県としても当協会と協力して、企業募金に力を入れて募金額を確保するよう、努力していくとともに、運営協議会での募金目標額や支援事業等の内容の検討、緑の募金事業



平成28年度兵庫県緑化作品コンクール入選者 1席

(犬塚 詩乃 姫路市立朝日中学校 3年) (応募時)

成果発表会を開催して、支援事業の活動内容を広く知っていただく取り組みを行っています。

県民総参加の森づくりを支える「緑の募金」の役割は今後もたいへん重要となります。

当協会の役割は、森林を整備する人、県産木材を活用する人、緑の大切さを拡げる人、そして「緑の募金」に協力する人々とを繋げ、コーディネートしていくことだと思います。

今後とも県では、兵庫県緑化推進協会と協力して「緑の募金」を積極的に進め、県民の安全安心のため森林の整備、緑化の推進や普及啓発に取り組んでまいりますので、「緑の募金」へのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

森林ボランティア「あびき湿原保存会」のご紹介

「あびき湿原」は、加西市の重要な生態系に選ばれる湧水湿原です。

植物群落の貴重性を示す「兵庫県版レッドデータブック2010植物群落」（2010、兵庫県）においても「Bランクに準ずるもので、市町村的価値に相当するもの」としてCランクに指定されましたが、現在はヒメヒカゲが居ることによりBランク相当とされています。

その貧栄養で特異な環境下には、富栄養性の高茎草本植物は侵入できず、低茎草本植物を中心とした貧栄養で特異な環境下にも耐える湧水湿原特有の植物が生育しています。また植物と同様に湿原にしか見られない昆虫なども生育しております。

平成24年に、加西市の環境課から湿原保全の話があり、地域の有志10余名でスタートした活動が、1年もしない間に50数名の参加得て現在に至っております。平成27年に「あびき湿原保存会」を結成し、活動内容も充実してきました。来場者に湿原と触れ合っていただくために、間伐材を使って木道作り、シカの被害から湿原を守るために高さ2mの網柵を張り巡らしました。保全作業は11月～3月末まで7～8回いろいろな作業行い、4～10月は観察会。講師先生を招き、会員の知識向上の勉強会も実施しております。あびき湿原保存会の活動の特徴は、行政が一切口出しせず、保存会に任されている事です。



保育園児との観察会



日本一小さいトンボ「ハッチョウトンボ」



見学用の木道作り



大阪ソーダの森

大阪ソーダ労働組合は、化学企業に従事するものとして環境保全に対する意識を組合員に芽生えさせることは「企業の社会的責任を果たすことにも繋がる」との認識に立ち、平成28年より兵庫県立やしろの森公園内にて森づくり活動を始めました。森を通るだけで生態系の理解を深めることができる森づくりを目指しています。

また、同公園のスタッフと協働で森づくりに取り組むことによって、多数の組合員及び家族が体験を通じて環境保全への意識・意欲を高めるとともに、相互の交流を図り一体感を醸成することも目的の一つとしています。



緑の募金事業成果発表会を開催しました

緑の募金が地域の森林整備や緑化にどのように活用されているのかについて情報提供する「緑の募金事業成果発表会」を平成29年2月4日(土)に開催しました。

当日は企業や森林ボランティア団体をはじめ県下各地から80名の方にご参加いただき、熱心に議論が進みました。

はじめに平成26年～28年の間に多額のご寄付をいただいた企業・団体みなさまに対して、国及び(公社)国土緑化推進機構から贈られた感謝状を秋山理事長よりお渡ししました。

続いて、兵庫県立大学大学院教授の平田富士男先生から「樹木、樹林の価値、そして市民活動の効果の見える化」と題した基調講演を行っていただきました。

講演では、今後の緑の募金事業の活動は地域環境の保全に対してどのような効果が発揮されたのかということに注目し、そのことを見える化することが重要であるというお話しをしていただきました。

「活動に取り組む人は見た目も若く元気な方が多いこと、そのことによって医療費、介護費の支出を削減できれば、社会保障費を大きく削減できる」という部分では、参加者の多くが大きくなずいておられました。

基調講演の後は、募金を活用して森林整備や緑化活動を実施した6活動団体の代表者から募金事業の成果を発表していただきました。

6団体の発表終了後、兵庫県立大学名誉教授の服部保先生をコーディネーターに、会場からの質問に応答する形で発表者とパネルディスカッションを行いました。

最後に神戸学院大学客員教授で、当協会の運営協議会委員長を務めていただいている上羽慶市先生より講評をいただきました。

発表会を通じて企業と森林ボランティア団体の情報共有が進み、また森林ボランティア団体相互の交流も図られ、今後の緑の募金事業がより効果的に実施されるよい機会となりました。

今後とも、「緑の募金」にご協力いただいた皆さまに対して、募金の成果を目に見える形でお伝えしていきますので「緑の募金」への一層のご協力をお願いします。



農林水産大臣賞
アサヒビール株式会社
神戸統括社



林野庁長官賞
ダイドードリンコ株式会社
西日本営業部



(公社)国土緑化推進機構理事長賞
株式会社神戸ポートピアホテル



関西防水管理事業協同組合



平田富士男先生の基調講演



服部保先生とパネルディスカッション



上羽慶市先生





平成28年度緑化作品コンクールの結果



緑化思想の高揚を図るため、県下の小学校の児童並びに中学校・高等学校の生徒を対象にコンクールを実施しました。応募点数は、緑化ポスター原画の部1,894点、緑化標語の部2,226点、そのうち入選点数はポスター原画の部29点、標語の部18点でした。特に優秀な作品をご紹介します。

ポスター原画の部

小学生の部1席



加西市立富田小学校
5年 大谷 陽太さん (応募時)

中学生の部1席



姫路市立朝日中学校
3年 犬塚 詩乃さん (応募時)

高校生の部1席



兵庫県立三木東高等学校
1年 石橋 准さん (応募時)

標語の部

小学生の部1席

加古川市立陵北小学校
6年 浦崎 裕登さん (応募時)

「未来まで つなげていこう
緑の架け橋」

中学生の部1席

加古川市立中部中学校
2年 飛松 美玖さん (応募時)

「君の手で 育てる緑と
広がる笑顔」

高校生の部1席

兵庫県立農業高等学校
3年 平松 未来斗さん (応募時)

「つなげよう
人と笑顔と 緑の輪」

国土緑化運動・育樹運動 コンクールの結果

県コンクール上位作品を(公社)国土緑化推進機構が開催する全国コンクールに応募した結果、大内こころさん、小瀬 彩華さん、臼井 春花さん、飛松 美玖さんが入選しました。

国土緑化運動・育樹運動コンクールポスター原画の部



播磨町立播磨西小学校
4年 大内 こころさん (応募時)



加古川市立平岡南中学校
3年 小瀬 彩華さん (応募時)



兵庫県姫路工業高等学校
1年 臼井 春花さん (応募時)

国土緑化運動・育樹運動 標語の部

加古川市立中部中学校
2年 飛松 美玖さん (応募時)

「君の手で 育てる緑と
広がる笑顔」



「緑の募金」にご協力をお願いします



森と緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金などの「緑の募金」を県下各地域で行っています。

ご寄付 の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振り込みをお願いします。

● 郵便振込

郵便振込の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。

● 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通 3198438 (振込手数料が必要)
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

募金運動の期間

春季 3月1日～ 5月31日
秋季 9月1日～ 10月31日

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071
URL : <http://www.hyogo-green.net/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

